

超音波検査実績

超音波診断報告書抄録

受 験 者 氏 名 淡路 花子

抄 録 番 号	5	年 齢	62歳	性 別	男
検 査 年 月 日	20〇〇年〇月〇日			疾患コード	A-5
施 設 名	超音波病院				
【超音波検査所見】 腎臓：右腎：実質エコーは正常、腎盂腎杯拡張なし、結石を示唆するstrong echoなし、腫瘍性病変なし 左腎：実質エコーは正常、腎盂腎杯拡張なし、結石を示唆するstrong echoなし、 腫瘍の大きさは、25×19×16mmで、下極へ突出しており、beak signを呈している。 境界は明瞭で、輪郭はやや不整、後方エコー減弱あり。 内部エコーは不均一な高エコーで、中心部に低エコー領域あり。 辺縁低エコー帯は認めない。 カラードプでは、腫瘍辺縁に血流シグナルが認められた。 腎静脈および下大静脈内には明らかな充実性エコーは認めない。 肝臓：萎縮および腫大なし。肝縁は鈍。表面は不整。実質エコーは軽度不均一。 肝・腎コントラストなし。腫瘍性病変なし。 胆嚢：腫大なし。壁肥厚なし。結石を示唆するstrong echoなし。隆起性病変なし。 胆管：肝内胆管拡張なし。肝外胆管は6mmと拡張なし。 膵臓：腫大なし。実質エコーは正常。主膵管は2mmと拡張なし。腫瘍性病変なし。 脾臓：spleen indexは15cm²（千葉大学第一内科の計測法）と腫大を認めない。腫瘍性病変なし。 膀胱：蓄尿十分。壁肥厚なし。隆起性病変なし。 前立腺：腫大なし。腫瘍性病変なし。 腹腔内リンパ節：明らかな腫大は指摘できない。					
超 音 波 診 断 *	腎血管筋脂肪腫疑い、慢性肝炎				

[主訴]

腎腫瘍の精査

[臨床経過]

20〇〇年〇月慢性C型肝炎の経過観察中、CT検査にて左腎下極に腫瘍性病変を認め精査目的となった。
結節性硬化症の合併なし。

[血液検査]

末梢血データ Hb 14.32g/dl、PLT 16.7 万/ μ l、WBC 6400/ μ l、PT 90.5 %
生化学データ AST 42 IU/l、ALT 567IU/l、 γ - GTP 45 IU/l、UN 21 mg/ml、UA 5.2 mg/ml、
CRE 0.46 mg/dl
ウイルスマーカー HCV RNA 6.4LogIU/ml

[他の画像所見]

造影CT：左腎下極に腎外へ突出し、早期にenhanceされる腫瘍を認めた。平衡相ではwash outされ腎細胞癌を疑った。約半年前のCTと大きさに変化はなかった。

造影MRI：左腎下極に下方へ突出する20mm大の腫瘍を認めた。T1 WIで低信号、T2 WIで高信号、造影にて早期ではenhance、平衡相にてwash outされた。拡散強調像では、淡い異常信号を呈しており、腎細胞癌を疑った。肝内には早期に濃染する腫瘍やwash outされる陰影は認められず、肝細胞相での低信号域も認めなかった。

手術所見：腎外側に黄色の脂肪成分を思わせる腫瘍が認められた。腫瘍内の壊死、出血はなかった。

病理組織所見：血管構造を中心に平滑筋様紡錘形細胞が増生、成熟脂肪細胞が介在する血管筋脂肪腫と診断された。悪性像は認めなかった。

[考察]

本症例は、Bモードで左腎辺縁より突出する類円形の高エコー腫瘍が認められた。腫瘍の組織成分には脂肪を含む成熟細胞が認められる為、高エコーの腫瘍像として描出されたと考える。平滑筋成分が多いと腎実質と等エコーな部分が多くなり、不均一な腫瘍となり腎細胞癌との鑑別が困難となる場合がある。本症例の腫瘍の境界は明瞭であり、通常被膜の形成はみられないため辺縁低エコー帯は認められない。カラードプラでは、辺縁と内部にわずかに血流シグナルを認め、腎細胞癌よりも血管筋脂肪腫を疑った。

腎血管筋脂肪腫は、腎胚芽細胞の遺残物に由来する過誤腫の一種で、脂肪組織、平滑筋組織、血管組織が様々な割合で混在する良性腫瘍である。組織の成分の構成比により内部エコーが異なるが、脂肪成分の豊富な腫瘍のことが多く、嚢胞変性を認めることは少ない。脂肪成分の多い腎細胞癌と鑑別を要するが、腫瘍内の血流シグナルが乏しい点や、被膜を認めない点が鑑別の一つとなる。

本症例は、腫瘍が腎外に突出し、CT、MRIで、腎細胞癌が考えられたため、本人の希望もあり、手術が施行され、血管筋脂肪腫と診断された。

最 終 診 断 *	左腎腎血管筋脂肪腫、慢性肝炎
-----------	----------------

公益社団法人日本超音波医学会理事長 殿

公益社団法人日本超音波医学会の定める超音波指導検査士（腹部領域）認定試験を受験する基準に十分な抄録であることを認めます。

公益社団法人日本超音波医学会
認定超音波指導医または代議員氏名
(自署)

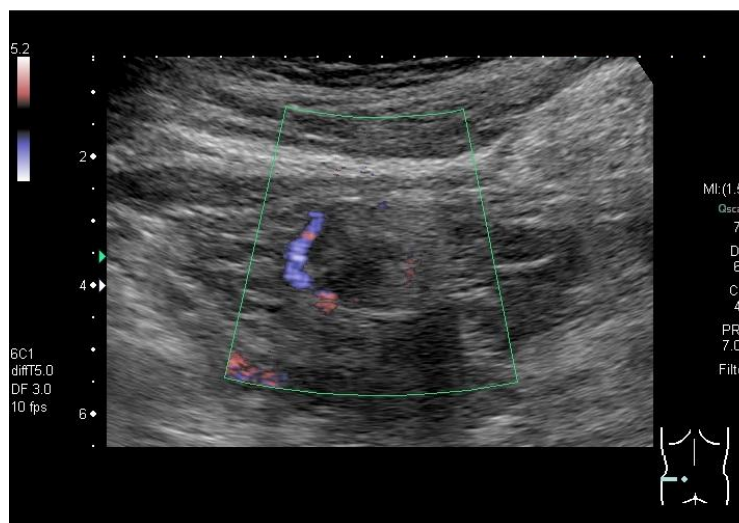
印

指導医の場合記入してください (SJSUMNo -)

抄 録 番 号	5	受 験 者 氏 名	淡路 花子
---------	---	-----------	-------

[写真貼付欄]

※写真裏面に、受験者氏名・受験領域・抄録番号を付記し、はがれないように貼付すること（写真は1症例につき5枚以内とする）。

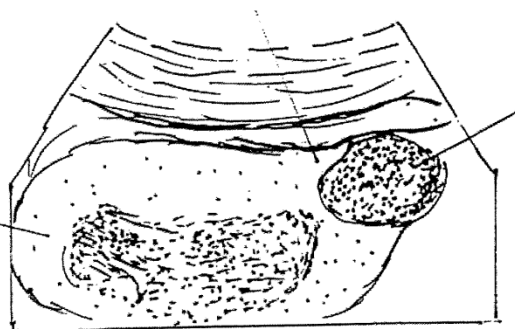


[スケッチ記入欄]

※鉛筆書きやパソコンのドローソフトなどを用いて作成したシェーマは認めない。

beak signあり

腎実質

腎下極から突出する
高エコー腫瘤腫瘤辺縁に
血流シグナルあり

腎実質

